

腰部脊柱管狭窄症 (TLIF)

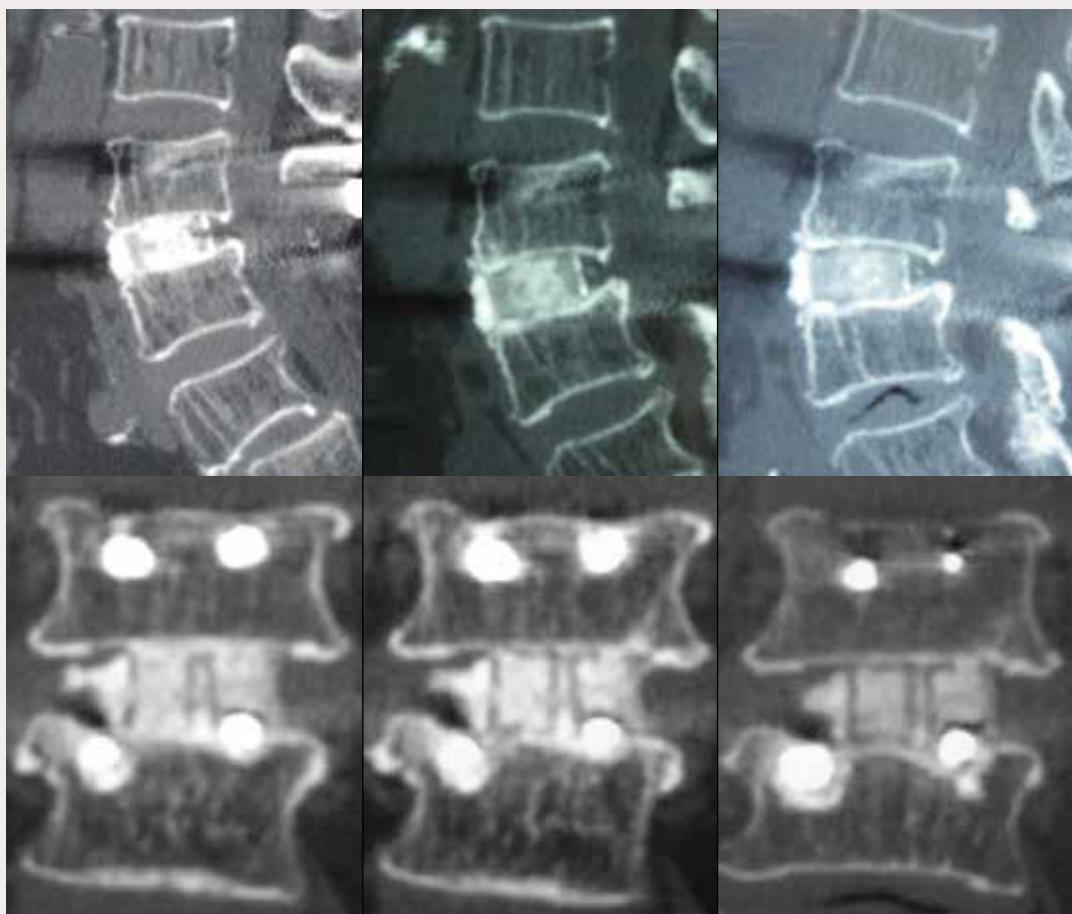
腰部不安定性が出現したためL3/4のTLIFを行った。TLIFではカーボン製ケージの内部およびその周囲に局所骨+人工骨顆粒スーパー・ポアKG-4 (2.0mm-4.0mm) 5gに血液を混合*したものを補填した。椎間に補填する際は、シリンジを用いた。



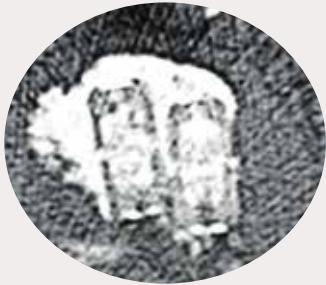
カーボン製ケージに補填
補填材料(局所骨+人工骨+血液)
※混合比 局所骨:人工骨=1:1



シリンジを用いて
椎間へ補填



マルチCTスキャン



術後2週



術後2ヶ月



術後3ヶ月

術後3ヶ月にて、術後2週と比較して、カーボン製ケージ内に入れた補填材料（局所骨+人工骨+血液）およびその周辺は、椎体の骨質に近い骨硬化の傾向が認められた。